

全国中心市街地活性化 まちづくり連絡会議

第22回 勉強会

平成30年7月5日(木)から6日(金)にかけて、国土交通省の後援のもと、「全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議 第22回勉強会」が、『まちづくり会社が考えるコンパクト・プラス・ネットワーク』をテーマとして、こほ21会議室(東京都新宿区)他にて開催されました。

〈1日目〉

勉強会1日目は 60名(賛助・参与会員等含む)もの多数のみなさまに参加いただきました。

国等からの中心市街地活性化支援策等について情報提供をいただいた後、国土交通省 都市局 都市計画課 課長補佐の山田大輔様より「都市のスポンジ化対策について」、筑波大学システム情報系 社会工学域の谷口守教授から、「中心市街地からコンパクト・プラス・ネットワークを再考する～バイオミメティックスの視点から～」と題したご講演をいただきました。

■国からの情報提供

「中心市街地活性化に向けた取組の状況について」

一 内閣府 地方創生推進事務局

参事官補佐 鈴木 善一 様

- ・ 中心市街地活性化制度の概要(中心市街地の活性化に関する法律 H18. 8施行)
- これまで認定を受けた中心市街地活性化基本計画: 累計142市2町225計画(平成30年6月現在)
- 現時点で認定を受けている中心市街地活性化基本計画: 84市2町86計画(平成30年6月現在)



- ・ 「中心市街地の活性化を図るための基本的な方針」の概要
- ・ 中心市街地活性化協議会の概要
- ・ 基本計画の作成から認定・変更等までの流れ

- ・ 最終フォローアップにおける評価指標の目標達成状況
- ・ 「稼げるまちづくり」の推進について
 - 地方創生に資する不動産流動化・証券化事例一覧表・位置図、ポイント
 - 事例【紫波町オガールプロジェクト】、【小松駅南ブロック複合施設】、【山ノ内町 WAKUWAKU やまのうち】、【米子市まちなか米子式号館】

「中心市街地活性化政策について」



- 一 経済産業省 地域経済産業グループ 中心市街地活性化室 室長 松原 浩司 様
- ・ 中心市街地活性化法の概要
- ・ 中心市街地活性化基本計画

認定状況(マップ)

- ・ 中心市街地活性化基本計画の認定実績
- ・ 中心市街地活性化基本計画に基づく経済産業省の支援
- ・ 経産大臣が特に認定する商業施設整備事業に対する支援
- ・ 「特定民間中心市街地経済活力向上事業(S特)」の認定要件
- ・ 特定民間中心市街地経済活力向上(S特)事業の認定一覧(参考)
- ・ 中小企業等支援人材育成事業(タウンマネージャー研修)
- ・ 中心市街地活性化の事例【北海道富良野市】、【静岡県藤枝市】、【滋賀県長浜市】
- ・ 研修実施予定
- ・ 中心市街地活性化施策に関するお問い合わせ先

「官民連携まちづくりに 関する施策の動向について」

一 国土交通省 都市局
まちづくり推進課
官民連携推進室
課長補佐 橋口真依 様



1. エリアマネジメント活動を推進する制度の動き
 - (1)都市再生特別措置法の一部改正
 - (2)屋外広告物規制の弾力化
 - (3)地域再生エリアマネジメント負担金制度(内閣府)

2. 都市再生推進法人の活動状況

都市再生推進法人一覧、アンケート結果
その他、官民連携まちづくり関連情報

「民都機構の制度を活用した民間による まちづくりの推進について」

—一般財団法人 民間都市開発推進機構

常務理事 高橋 忍 様

- ・ 民都機構の役割
- ・ 現在の支援メニュー

出資等による支援

- ① まち再生出資業務
制度の位置づけ、出資要件、活用事例【オガールプラザ】、【並木横丁いこいこ】等
- ② マネジメント型まちづくりファンド支援業務
制度概要、選定事例【城崎まちづくりファンド】、【谷根千まちづくりファンド】

長期安定的な融資型支援

- ③ 共同型都市再構築業務
【さいたま新都心コクーン2】、【ユトリア博多】他
- ④ メザニン支援業務
【赤坂インターシティ AIR】

資金拠出による支援

- ⑤ クラウドファンディング活用型まちづくりファンド支援業務
制度概要、対象事例【なごや歴史まちづくり基金】、【未来ファンドおうみ】



■講演

「都市のスポンジ化対策について」

—国土交通省 都市局 都市計画課

課長補佐 山田 大輔 様

- ・ 都市経営における課題
- ・ 政策の方向性
- ・ コンパクト・プラス・ネットワークのための計画制度
- ・ 空き地、空き家の状況
- ・ 中心市街地等における低未利用地の増加
- ・ 都市再生特別措置法等の一部を改正する法律
- ・ 低未利用土地権利設定等促進計画
- ・ 低未利用土地権利設定等促進計画に関する先行事例【福井市】、【長野市】
- ・ 立地誘導促進施設協定(コモンズ協定)概要
- ・ コモンズ協定事例【長野市ぱていお大門】、【幸田町幸田駅前銀座】、【黒石市こみせ】、【八戸市花小路】、【高岡市博労町まちかどサロン】



「中心市街地からコンパクト・プラス・ネットワークを 再考する～バイオミメティックスの視点から～」

—筑波大学 システム情報系

社会工学域教授 谷口 守 様

- ・ 都市で困ったことがあれば、生き物から学べ
- ・ 都市自体が成人病に罹患
- ・ 環境が整えば自動車利用を



控え、街なか集まる「居住者シードバンク層」が都市再生への一つの核

- ・ コンパクトシティとは、交通環境負荷(燃料消費量)を下げる都市構造(→これだごまかせない)

〈2日目〉



勉強会2日目は41名のみなさまに参加いただき、谷根千エリアの現地視察を行いました。

谷根千エリアにてリノベーションを実施してきた「まちあかり舎」の椎原晶子様他にお話を伺い、現地を案内していただきました。



民都機構の出資を活用してリノベーションした建物



古民家3軒と路地を一体的にリノベーションした「間間間」(さんげんま)

■最後に

今回は2018年11月下旬に勉強会を予定しております。詳細が決まりましたら、メールやホームページ等でご連絡させていただきます。多数の方々参加をお待ち申し上げます。